



東京海上ホールディングス

To Be a Good Company

2021年度 第2四半期決算概要 及び 通期業績予想

東京海上ホールディングス株式会社

2021年11月19日

(Blank Page)

業績ハイライト

– Key messages	3
– Executive Summary	4

2021年度 第2四半期決算概要

– 連結決算（修正純利益）	9
– 自然災害の発生状況	10

● 国内損保事業（TMNF）

– 決算概要	11
– 正味収入保険料	12
– 発生保険金	13
– コンバインド・レシオ	14
– 資産運用等損益	15

● 国内生保事業（AL）

– 決算概要	16
--------	----

● 海外保険事業

– 正味収入保険料	17
– 事業別利益	19
– 決算概要（PHLY）	21
– 決算概要（Delphi）	22
– 決算概要（TMHCC）	23

◆資料内にて使用している事業会社の略称は以下の通りです

➢TMNF	: 東京海上日動火災保険
➢AL	: 東京海上日動あんしん生命保険
➢PHLY	: Philadelphia
➢TMHCC	: Tokio Marine HCC
➢TMK	: Tokio Marine Kiln

2021年度 通期業績予想

– 連結決算（修正純利益）	26
---------------	----

● 国内損保事業（TMNF）

– 業績予想	27
– 正味収入保険料	28
– 発生保険金	29
– コンバインド・レシオ	30
– 資産運用等損益	31

● 国内生保事業（AL）

– 業績予想	32
--------	----

● 海外保険事業

– 正味収入保険料	33
– 事業別利益	35

ESRの状況

– ESRの推移と感応度	38
– ESRのターゲットレンジ	39

参考資料

– 連結決算（連結純利益）	41
– 各種指標の定義	43
– 修正純利益の組替表	45
– 修正純資産・修正ROE	47
– 事業別利益の組替表	48

Key messages

好調な2Q実績 (進捗率75.0%)

- ◆ 国内外ともに保険引受・資産運用いずれも好調
修正純利益の2Q実績は3,181億円と、年初予想対比75.0%の進捗率
(過去5年平均進捗率42.2%)
- ◆ トップラインも年初予想対比で好調に推移し、基調は良好

通期予想の 上方修正 (+660億円)

- ◆ これまでのグローバルなリスク分散の実行により、経営の実力を高めてきた結果、
修正純利益の2021年度予想を+660億円上方修正し、4,900億円とする
- ◆ 足元の実力を踏まえれば、2023年度見込みも上振れし、5,000億円を優に
突破する見込み

株主還元の拡大 (+30円増配)

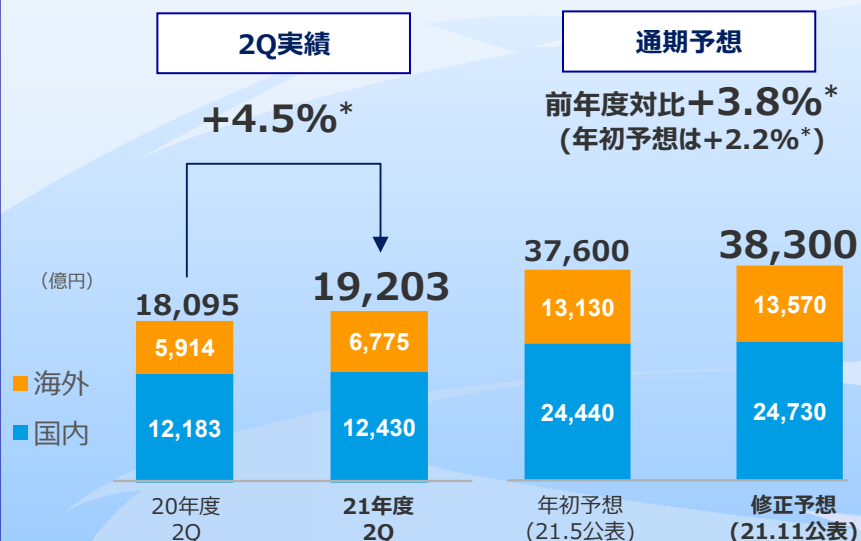
- ◆ 利益成長の確度の高さを踏まえ、配当性向50%への引上げを2023年度に前倒す
- ◆ これを受けて、2021年度のDPSも245円に引上げる
(年初予想対比+30円、対前年+45円、配当性向47%)

Executive Summary トップライン2Q実績・通期予想

トップライン2Q実績は、国内外ともに年初予想対比で好調に推移し、基調は良好
これを踏まえ、正味収入保険料の通期予想を前年度対比+3.8%*の増収に（年初予想は+2.2%*）、
生命保険料の通期予想を前年度対比▲2.2%*の減収（年初予想は▲4.9%*）に引上げる

*除く為替

■ 正味収入保険料



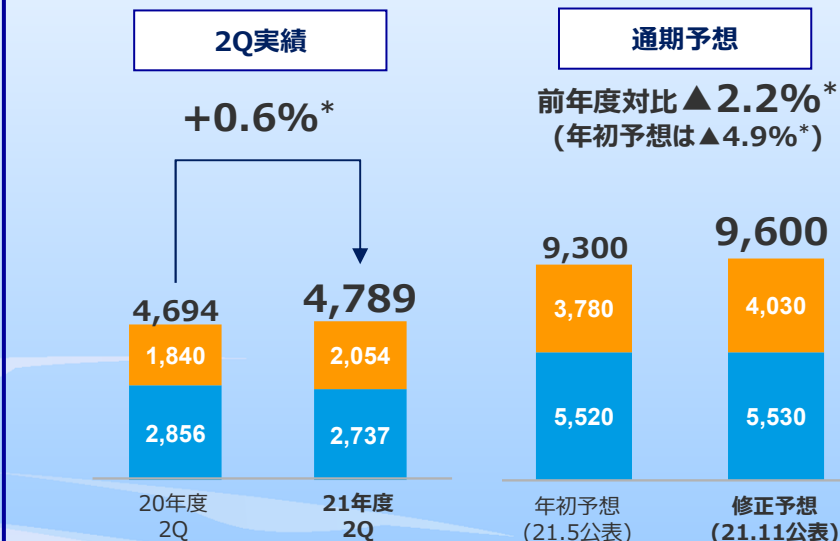
【国内】（2Q実績+2.0%、通期の修正予想+1.3%）

- コロナ反動や火災の料率改定効果等により、上期の基調は好調
- 通期では前年度対比+1.3%に引上げ（年初予想は+0.0%）

【海外】（2Q実績+9.5%*、通期の修正予想+8.6%*）

- 好調なレート環境下において、ロスコストを意識した、計画を上回る堅調なレートアップや販売拡大等により、上期の基調は好調
- 通期では前年度対比+8.6%*に引上げ（年初予想は+6.0%*）

■ 生命保険料



【国内】（2Q実績▲4.2%、通期の修正予想▲7.7%）

- 堅調な販売拡大の一方で、事業保険解約増加等により、損保様式（解約返戻金等を控除）の生命保険料は減収（新契約年換算保険料は年初予想を上回って推移）
- 通期では前年度対比▲7.7%を見込む（年初予想も▲7.8%）

【海外】（2Q実績+7.9%*、通期の修正予想+5.3%*）

- TMHCCのMSL*¹やDFGのLTD/STD*²において、計画を上回るレートアップや引受拡大等を実現しており、基調は良好
- *1 メディカルストップロス保険 *2 長期/短期の就業不能補償保険
- 通期では前年度対比+5.3%*に引上げ（年初予想は▲0.3%*）

Executive Summary 修正純利益2Q実績

【連結全体(修正純利益)】 3,181億円(年初予想対比の進捗率:75.0%)

➤ TMNFが好調に推移していることに加え、海外も計画を上回り、連結全体の2Q実績は非常に良好

[各事業の事業別利益 (詳細は後述)]

【TMNF】 1,318億円

(年初予想対比の進捗率:94.8%、過去5年平均進捗率:29.8%)

➤ 好調なトップラインと、発生保険金の下振れ(コロナ影響や自然災害の減少)等により、年初予想を大幅に上回って進捗

【AL】 227億円(年初予想対比の進捗率:47.5%)

➤ 4Qに計上されるDelphiへの運用委託に係る分配金を考慮すると、順調に進捗

【海外保険】 1,276億円

(年初予想対比の進捗率:76.4%、過去5年平均進捗率:約43%)

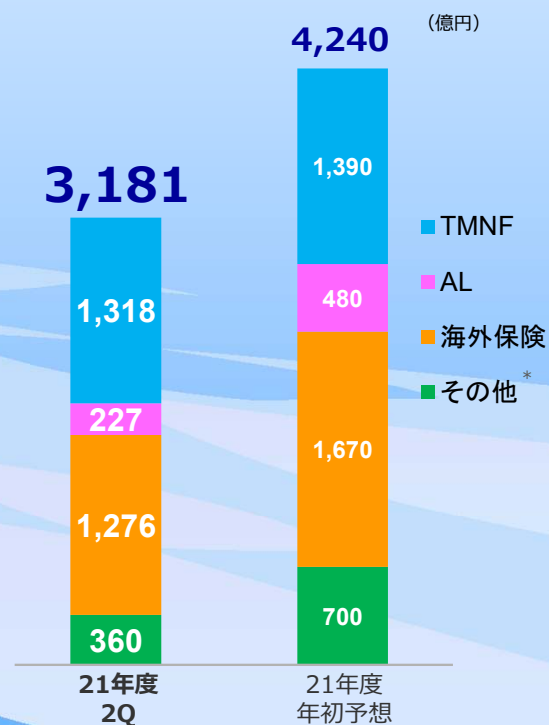
➤ テキサス州寒波の影響があったものの、保険引受・資産運用共に好調であり、2Q計画を大幅に上回って進捗
➤ なお、北米主要拠点の2Q実績は、計画対比+約250億円

年初予想対比進捗率

75.0%

※過去5年平均進捗率
(16Q2-20Q2・以降同様)

42.2%



*「その他」は、その他国内損保や金融その他事業、事業別利益に含まれない政策株式売却益など

Executive Summary 修正純利益通期予想（今回vs年初）

【連結全体(修正純利益)】 4,900億円(+660億円上方修正)

- これまでのグローバルなリスク分散の実行により、経営の実力を高めてきた結果、修正純利益の2021年度予想を+660億円上方修正し、4,900億円とする
- 足元の実力を踏まえれば、2023年度見込みも上振れし、5,000億円を優に突破する見込み

[各事業の事業別利益（詳細は後述）]

【TMNF】 1,760億円(+370億円上方修正)

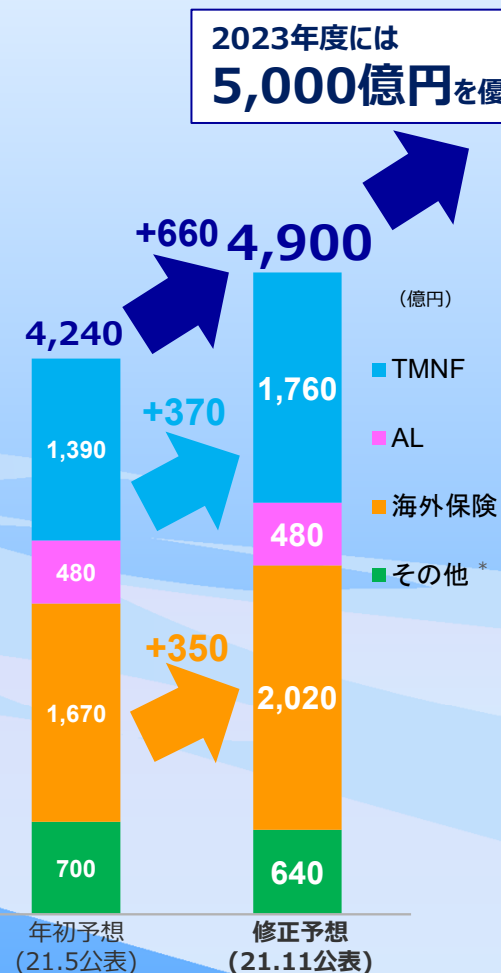
- 好調なトップライン、自然災害の減少、良好な自動車の損害率を踏まえ、上方修正

【AL】 480億円(年初予想対比横ばい)

- 予想対比で堅調に推移しており、年初予想通りの着地を見込む

【海外保険】 2,020億円(+350億円上方修正)

- テキサス州寒波やハリケーンIdaといった自然災害の影響があるものの、保険引受も資産運用も好調であることを踏まえ、上方修正



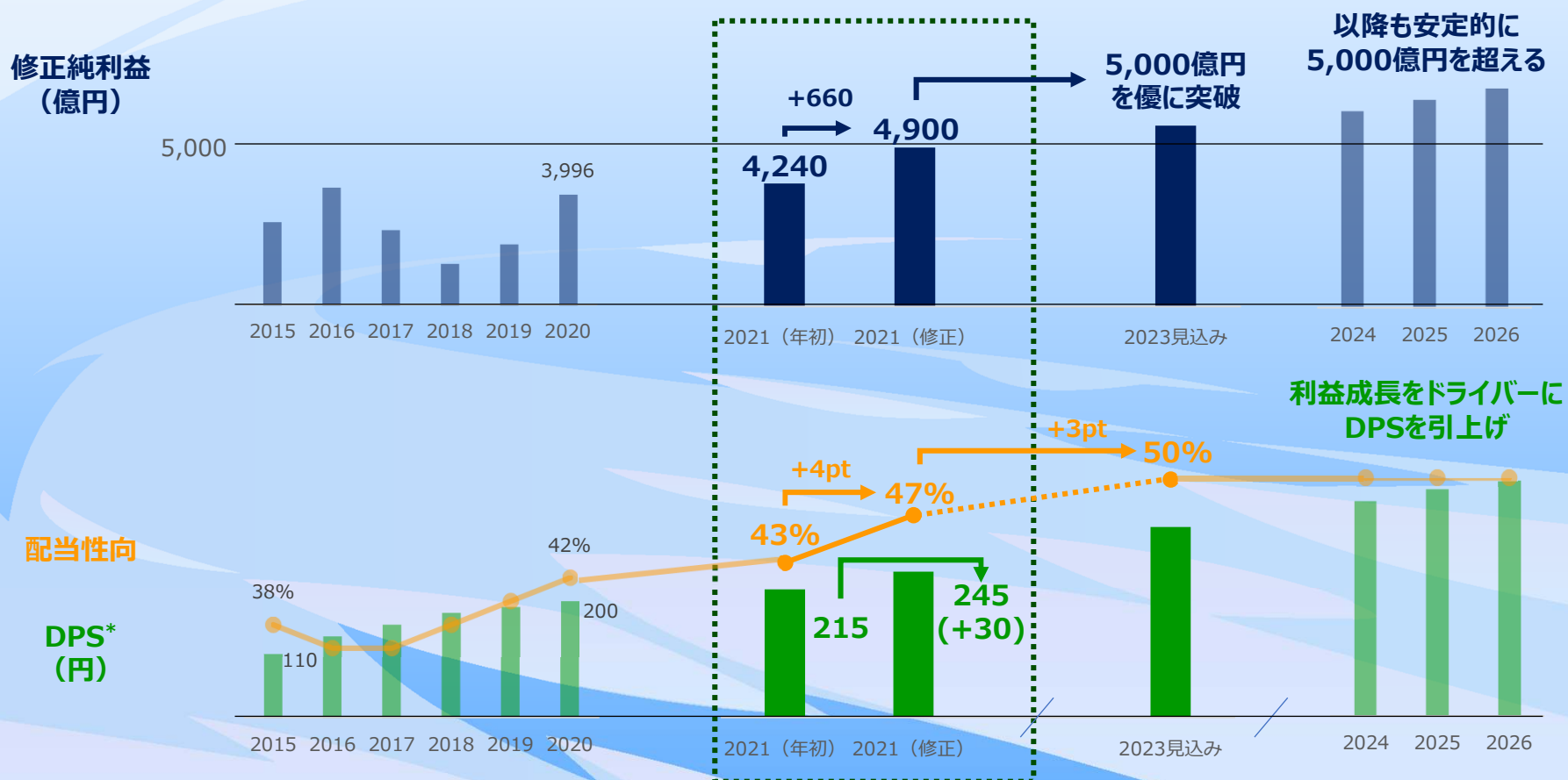
*「その他」は、その他国内損保や金融その他事業、事業別利益に含まれない政策株式売却益など

Executive Summary 株主還元

利益成長の確度を踏まえ、配当性向50%への引上げ時期を2023年度に前倒す
これを受けて、2021年度のDPSも245円に上げる（年初予想対比+30円、対前年+45円、配当性向47%）

21年度の資本水準調整は、ここまで600億円の自己株取得を実行済。残りの400億円についても、規律を持って実行していく（公表のタイミングは機動的に判断していく）

■ 普通配当の着実な増配実績と今後の引上げ方針



*: DPSは、5年平均の修正純利益×配当性向÷株式数で算出

2021年度 第2四半期決算概要

＜ご参考＞

	為替レート (ドル/円)	
	20年度	21年度
9月末レート (国内損保・生保)	105.80円 (20年3月末対比 3.03円高)	111.92円 (21年3月末対比 1.21円安)
6月末レート (海外)	107.74円 (19年12月末対比 1.82円高)	110.58円 (20年12月末対比 7.08円安)

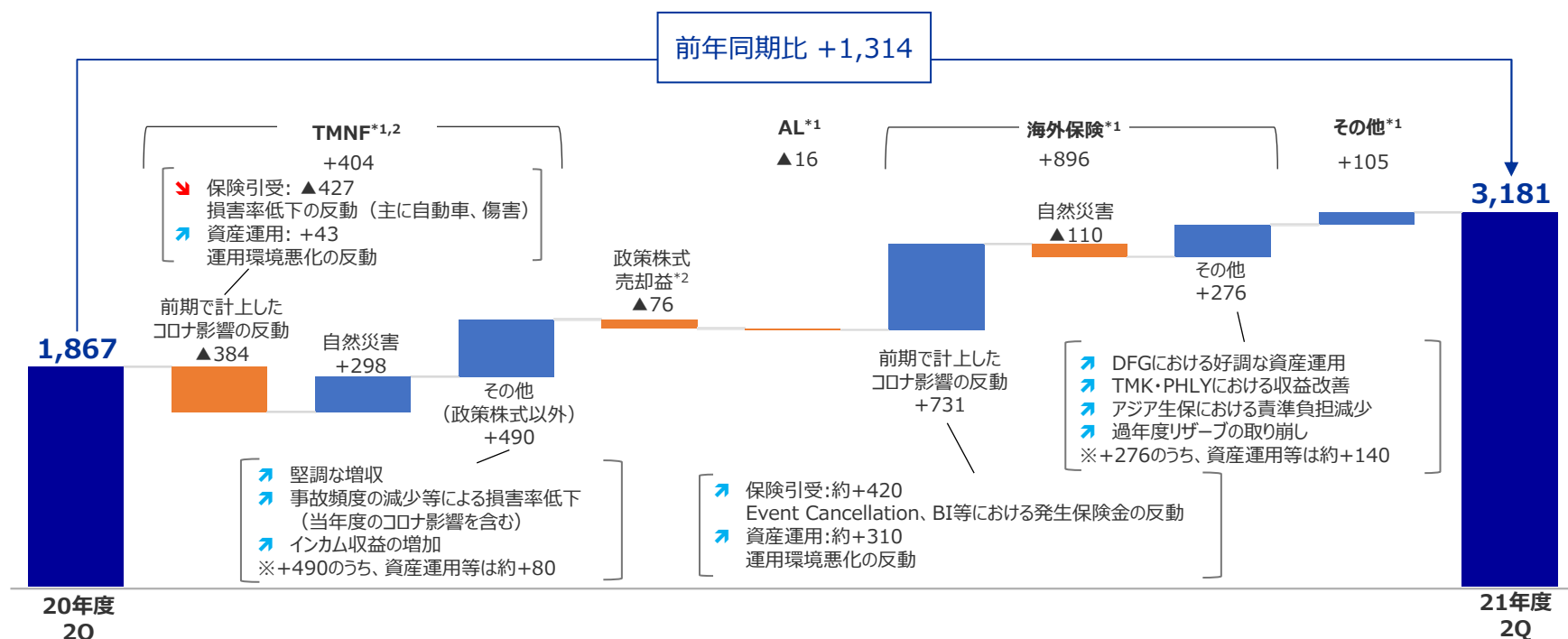
連結決算：修正純利益2Q実績（前年増減）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



修正純利益は、コロナ影響の反動に加え、TMNFや海外における好調な保険引受および資産運用等により、前年同期比+1,314億円の3,181億円となった

■ 修正純利益（億円）



*1: 金額は各事業の事業別利益 (「その他」はその他国内損保や金融その他事業、連結調整など)

*2: 政策株式の売却益は、事業別利益には含まれないが、修正純利益には含まれる

*3: 財務会計の当期純利益の増減はP.41参照

自然災害の発生状況（2Q実績・通期予想）

自然災害に係る発生保険金の2Q実績は、前年同期比▲309億円減少の502億円（税引前）
 通期の自然災害予算は、国内外合計では保守的に年初予想の水準を概ね維持（足元の状況を踏まえて内訳を修正）

■ 自然災害に係る発生保険金（事業別利益ベース、億円）

税引前	2020年度 2Q実績	2021年度 2Q実績	前年増減*2	2021年度通期予想		増減*2 (②-①)
				①年初	②今回	
国内損保*1	725	277	▲448	740	580	▲160
海外保険	86	224	+138	520	650	+130
合計	811	502	▲309	1,260	1,230	▲30
税引後*3						
国内損保*1	522	199	▲322	533	418	▲115
海外保険	68	180	+112	400	510	+110
合計	590	380	▲210	933	928	▲5

■ 2Qの主な自然災害(一定規模以上の自然災害を記載)

【国内*1】

元受発生保険金*4

令和3年8月秋雨前線による大雨 134億円
 令和3年台風9号 57億円

【海外】

正味発生保険金*4

テキサス州寒波 168億円

※3Q(7～9月)に新たに発生した自然災害(ハリケーンIda、カリフォルニア州山火事等)の想定ロスは200億円程度となる見込み*4

*1:TMNF、NF、イーデザインの合計 *2:+は収益にマイナス、▲は収益にプラス *3:税引後数値は概算 *4:税引前

国内損保事業①：決算概要（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 2Q事業別利益は、好調なトップラインと、発生保険金の下振れ（コロナ影響や自然災害の減少）等により、年初予想を大幅に上回って進捗（2Q進捗率：21年度94.8% vs 過去5年平均29.8%）
- 前年同期比では、自然災害の減少等による保険引受利益の増益や、外貨建てファンドからの配当金の増加等による資産運用等損益の増益により、全体として+404億円の増益

（単位：億円）

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年増減	2021年度 年初予想	進捗率
保険引受利益	▲48	1,241	1,290	1,090	113.9%
（保険引受利益：除く①～⑤）	1,416	1,513	97	1,923	78.7%
正味収入保険料（民保）	10,040	10,361	320	20,411	
既経過保険料（民保）*1	9,834	10,180	346	20,307	
発生保険金（民保）*2	▲5,912	▲5,641	270	▲12,325	
①自然災害	▲669	▲255	413	▲700	
②外貨建支払備金積増/積減	29	▲20	▲49	-	
上記以外	▲5,273	▲5,366	▲92	▲11,625	
事業費（民保）	▲3,134	▲3,287	▲153	▲6,759	
③異常危険準備金積増/積減	▲413	▲417	▲3	▲500	
自動車	▲175	▲178	▲3	▲32	
火災	▲156	▲153	3	▲327	
④自然災害責任準備金積増/積減	▲84	22	106	-	
⑤初年度収支残負担*3	▲327	399	726	366	
資産運用等損益	957	1,193	235	1,780	67.0%
経常利益	939	2,465	1,525	2,880	85.6%
特別損益	▲142	▲2	140	▲42	4.8%
中間純利益	629	1,898	1,268	2,200	86.3%
事業別利益	913	1,318	404	1,390	94.8%

*1 自然災害責任準備金積増を除く

*2 損害調査費を含む

*3 普通責任準備金積増額の内、未経過保険料の積増額を控除したもの

注）上表における符号は、利益方向に一致するように表示

【年初予想に対する進捗】

— 各種準備金等の影響を控除した保険引受利益：
（2Q進捗率：21年度78.7% vs 過去5年平均55.0%）

➡ 以下要因により、年初予想を上回って進捗

➡ 火災、海上における好調なトップライン（P.12）

➡ 自動車、火災における想定を下回る発生保険金（P.13）

— 事業別利益：

➡ 上記に加えて、外貨建てファンドからの配当金の増加が想定を上回ったこと等により、年初予想を大幅に上回って進捗
（2Q進捗率：21年度94.8% vs 過去5年平均29.8%）

【ご参考】準備金の前年同期比

— 自然災害責任準備金積増/積減：

➡ 前年同期の積増の反動や再保険スキームの見直しに伴う取崩の発生

— 初年度収支残負担：

➡ 主に自動車におけるコロナ影響の反動による取崩の増加

国内損保事業②：正味収入保険料（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 2Q実績は、コロナ反動や火災の料率改定効果等により+3.2%と、基調は好調(年初予想は+0.9%)
- 前年同期比では、同様の理由により、増収

(単位：億円)

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2021年度 年初予想	前年 増減率
火災	1,643	1,692	48	3.0%	3,411	▲3.4%
海上	318	375	56	17.8%	631	2.9%
傷害	914	957	42	4.7%	1,728	7.1%
自動車	5,468	5,568	100	1.8%	11,161	1.0%
自賠責	1,230	1,159	▲71	▲5.8%	2,202	▲7.7%
その他新種	1,698	1,769	71	4.2%	3,483	2.1%
合計	11,274	11,523	248	2.2%	22,620	0.0%
内：民保合計	10,040	10,361	320	3.2%	20,411	0.9%

【年初予想に対する進捗】

- 火災：
 - ➡ 21年1月の料率改定効果（想定内）や企業火災の大口契約等により、年初予想を上回って推移
- 海上：
 - ➡ コロナ影響（物流減等）が想定よりも小さいことや営業施策の実行等により、年初予想を上回って推移
- 傷害：
 - ➡ コロナ影響（外出自粛等）が残るものの、年初予想に対して順調に推移
- 自動車：
 - ➡ 車両保険の付帯率上昇や21年4月の商品改定効果によるノンフリート単価の上昇（+1.6%）等により、年初予想に対して順調に推移
- 自賠責：
 - ➡ 21年4月の料率引下げ（▲6.7%）の影響はあるものの、営業施策の実行により、年初予想を上回って推移
料率引下げにより、前年同期比では減収
- その他新種
 - ➡ コロナ影響が残るものの、賠償責任保険や航空保険(海外受再)における増収等により、年初予想に対して順調に推移

国内損保事業③：発生保険金（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- コロナ影響や自然災害の減少により、年初予想を下回って推移
- 前年同期比では、コロナ反動はあるものの、自然災害の減少等により、減少

(単位：億円)

	2020年度 第2四半期 実績	自然 災害	2021年度 第2四半期 実績	自然 災害	前年 増減	前年 増減率	2021年度 年初予想	前年 増減率
火災	1,444	589	907	227	▲537	▲37.2%	2,143	▲20.0%
海上	206	11	256	1	50	24.5%	424	12.1%
傷害	369	-	438	-	69	18.7%	946	10.4%
自動車	2,818	50	3,038	17	220	7.8%	6,809	13.8%
その他 新種	1,073	18	1,000	9	▲72	▲6.8%	2,001	▲8.5%
合計	5,912	669	5,641	255	▲270	▲4.6%	12,325	2.0%

注) 上表には損害調査費を含む

【年初予想に対する進捗】

- 火災：
 - ➡ 自然災害や大口事故の減少等により、年初予想を下回って推移
- 海上：
 - ➡ 年初予想に対して想定内で推移
コロナ影響の反動等により、前年同期比では増加
- 傷害：
 - ➡ 年初予想に対して想定内で推移（コロナ影響の反動は想定を下回るものの、コロナ以外の事故増加により相殺）
コロナ影響の反動等により、前年同期比では増加
- 自動車：
 - ➡ コロナ影響や自然災害の減少等により、年初予想を下回って推移
コロナ影響の反動により、前年同期比では増加
- その他新種：
 - ➡ 国内大口事故の増加はあったものの、年初予想に対して想定内で推移
海外大口事故の減少により、前年同期比では減少

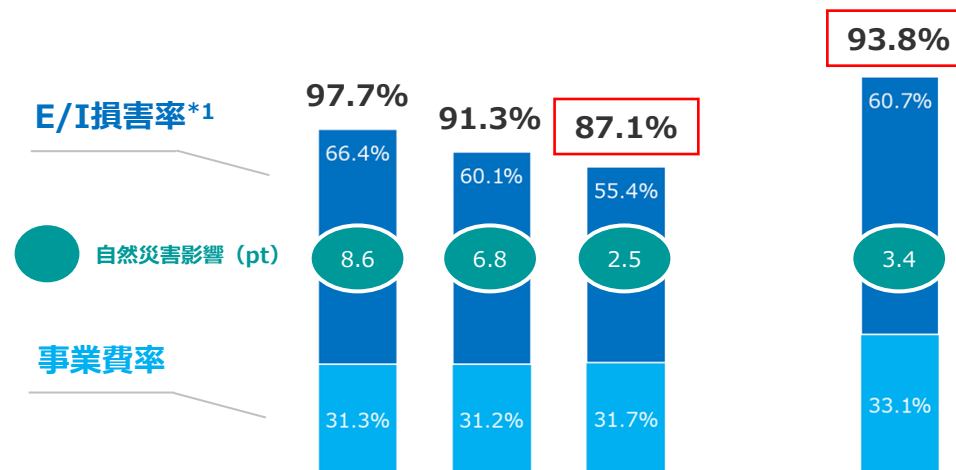
国内損保事業④：コンバインド・レシオ（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- E/I損害率、事業費率、コンバインド・レシオは、年初予想を下回って推移
- 前年同期比では、事業費率は上昇、E/I損害率、コンバインド・レシオは自然災害の減少により低下

コンバインド・レシオ（民保E/Iベース）



【年初予想に対する進捗】

- － E/I損害率：
 - ➡ 既経過保険料の増加と想定を下回る発生保険金により、年初予想を下回って推移
除く自然災害でも同様
- － 事業費率：
 - ➡ 社費率は、正味収入保険料の増加やオリンピック・パリンピックのコスト減少等により、年初予想を下回って推移
➡ 手数料率は、通期予想に対して順調に推移
- － コンバインド・レシオ：
 - ➡ 上記要因により、年初予想を下回って推移

(単位：億円)

	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年増減	2021年度 年初予想
正味収入保険料	10,019	10,040	10,361	320	20,411
既経過保険料*2	9,572	9,834	10,180	346	20,307
発生保険金*1	6,351	5,912	5,641	▲270	12,325
事業費	3,139	3,134	3,287	153	6,759
内：社費	1,113	1,038	1,115	76	2,477
内：代理店手数料	2,026	2,095	2,172	76	4,282

*1 損害調査費を含む

*2 自然災害責任準備金積増を除く

E/I損害率*1

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年増減	2021年度 年初予想
火災	94.6%	54.2%	▲ 40.4pt	63.7%
海上	60.2%	67.4%	7.2pt	67.1%
傷害	45.0%	54.4%	9.4pt	56.4%
自動車	51.8%	54.7%	2.9pt	61.1%
その他新種	63.0%	56.8%	▲ 6.2pt	57.5%
民保合計	60.1%	55.4%	▲ 4.7pt	60.7%

国内損保事業⑤：資産運用等損益（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



● 資産運用等損益は、インカムの好調を主因に、年初予想を上回って進捗

(単位：億円)

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年増減	2021年度 年初予想	進捗率
資産運用等損益	957	1,193	235	1,780	67.0%
資産運用損益	1,121	1,358	236	2,090	65.0%
ネット利息及び配当金収入	630	930	299	1,300	71.5%
利息及び配当金収入	812	1,092	279	1,624	
内国株式配当金	309	321	12	526	
外国株式配当金	237	403	166	589	
内国債券インカム	86	82	▲ 4	160	
外国債券インカム	13	11	▲ 2	21	
内国その他インカム ^{*1}	2	3	0	▲ 0	
外国その他インカム ^{*2}	104	211	106	235	
積立保険料等運用益振替	▲ 181	▲ 161	20	▲ 323	
売却損益等計（キャピタル）	491	427	▲ 63	789	54.1%
有価証券売却損益	568	480	▲ 88	809	
有価証券評価損	▲ 29	▲ 37	▲ 8	-	
内国株式評価損	▲ 11	▲ 14	▲ 2	-	
外国証券評価損	▲ 17	▲ 16	1	-	
金融派生商品損益	▲ 54	▲ 29	25	▲ 22	
為替差損益	1	8	7	-	
その他	5	6	1	2	
その他経常収益・費用等	▲ 163	▲ 164	▲ 0	▲ 310	

* 1 内国証券のうち内国株式及び内国債券以外からのインカム

* 2 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

【年初予想に対する進捗】

ー ネット利息及び配当金収入（インカム）

➡ 政策株式や外貨建てファンドからの配当金増加を主因に、年初予想を大幅に上回って進捗

ー 売却損益等計（キャピタル）

➡ 年初予想に対して順調に進捗

一方、前年同期比では、売却ペースの差による政策株式売却益の減少（約▲100億円）を主因に、▲63億円の減益

なお、政策株式売却額は590億円（前年同期比▲120億円）で、年初予想の1,000億円に対して順調に進捗

国内生保事業：決算概要（AL）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 新契約年換算保険料は、年初予想に対して好調な進捗
（21.2Q増収率32.2%には、前年のコロナ影響からの回復を含むが、年初予想にも織り込み済）
- 事業別利益は、Delphiからの運用収益の一部が4Qにのみ計上される点を考慮すると、年初予想に対して順調に進捗

（単位：億円）

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2021年度 年初予想	前年 増減率
新契約年換算保険料	184	243	59	32.2%	450	3.8%

	2021年 3月末実績	2021年 9月末実績	増減	増減率	2022年 3月末 年初予想	前年 増減率
保有契約年換算保険料	8,199	8,133	▲65	▲0.8%	7,960	▲2.9%

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	2021年度 年初予想	進捗率
経常収益	4,886	4,740	▲146	9,230	
保険料等収入	4,058	4,016	▲42	8,080	
中間純利益	223	215	▲8	470	45.8%
経常利益	299	263	▲36	570	
(-) キャピタル損益	▲27	▲16	11	▲30	
(-) 臨時損益	▲6	▲5	0	▲0	
基礎利益	333	284	▲48	600	
事業別利益	244	227	▲16	480	47.5%

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	2021年度 年初予想	進捗率
新契約価値	169	309	140	580	53.3%

【年初予想に対する進捗】

新契約年換算保険料

- ➡ 回払変額保険や新商品（介護年金保険など）の販売好調により、年初予想に対して好調な進捗

事業別利益

- ➡ 4Qに計上される、Delphiへの運用委託に係る分配金を考慮すると、年初予想に対して順調に進捗
（前年同期比では、保有契約の利益貢献や為替ヘッジコストの減少といった増益要因を、販売好調に伴う初年度負担の増加等が打ち消し、▲16億円の減益）

新契約価値

- ➡ 収益性の高い主力商品の販売好調や円金利のステープ化を主因に、年初予想に対して好調な進捗

海外保険事業①：正味収入保険料

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- TMHCC・PHLYを中心に、年初予想を上回る増収を実現し、基調は好調
- 前年同期比では、上記に加えて、年初に計画した各事業における成長施策の実行（レートアップの取り込みや引受拡大等）やコロナ影響の反動により、+8.9%の増収

(単位：億円)

		2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績				2021年度 年初予想	
適用為替レート (ドル/円)		20年6月末	21年6月末	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*5)	21年3月末	前年増減率 (除く為替*5)
		107.7円	110.5円				110.7円	
先進国	北米*1	5,672	6,546	873	15.4%	12.4%	12,350	5.3%
	PHLY	1,701	1,838	137	8.1%	5.3%	3,650	1.4%
	Delphi	1,441	1,575	133	9.3%	6.5%	3,110	4.0%
	TMHCC	2,164	2,711	546	25.3%	22.0%	4,820	9.0%
	欧州*2	638	656	17	2.7%	▲9.9%	1,420	▲0.2%
新興国	中南米	490	627	136	27.8%	13.0%	1,130	8.4%
	アジア・オセアニア*3	872	955	82	9.5%	4.7%	1,940	6.1%
	中東・アフリカ	154	174	19	12.7%	▲6.1%	360	2.7%
損保計*4		7,829	8,959	1,129	14.4%	9.2%	17,200	5.1%
生保		459	500	40	8.8%	4.8%	950	▲2.5%
合計		8,289	9,459	1,169	14.1%	8.9%	18,150	4.6%

(ご参考) Pureレシプロカルの保険料 (GWPベース)

Pure	713	853	139	19.5%	16.4%
------	-----	-----	-----	-------	-------

【年初予想に対する進捗（除く為替）】

- － 北米（主要3社の詳細はP.21～23参照）
 - ➡ PHLY： 計画を上回るレートアップ（2Q実績+11.1%）と好調な新規契約により増収
収益性重視の引受を継続しているものの、年初予想を上回って推移
 - ➡ Delphi： 好調なGroup LifeやLTD/STDを主因に、年初予想を上回って推移
 - ➡ TMHCC： 好調なMSLや良好なレート環境下で計画を上回る増収を実現したことにより、
年初予想を上回って推移
なお、2Qにおける更新契約のレートアップ率は+15%（A&H・Surety・Creditを除く）
- － 欧州
 - ➡ TMK： 収益安定化に向けた引受見直しや出再増加の一方、レートアップによる増収を実現
（2Q計画対比ではオンパース）
- － 中南米
 - ➡ 企業種目の増収等により、年初予想を上回って推移
- － アジア・オセアニア
 - ➡ コロナに伴い新車販売の回復が想定を下回ったこと等により、年初予想をやや下回って推移

*1 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州事業を含む。TMKの北米事業は含まない

*2 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含む。TMHCCの欧州事業は含まない

*3 「アジア・オセアニア」に記載の数値には、先進アジア・オセアニアを含む

*4 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含む

*5 円換算時の為替の影響を控除

海外保険事業の数値は、従来からIR資料などで開示している基準と合わせ、東京海上日動の在外支店や持分法適用会社、非連結会社なども合算した海外保険事業トータルの数値となっている
（上記全ての注記については、P.19も同様）

海外保険事業②：事業別利益

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- テキサス州寒波の影響はあったものの、保険引受・資産運用共に好調であり、2Q計画を大幅に上回って進捗
(2Q進捗率：21年度 76.3% vs 過去5年平均 約43%)
- 北米主要拠点*の2Q実績は、計画対比+約250億円
- 前年同期比では、上記に加えて、コロナ影響の反動(+約730億円。うち保険引受+約420億円、
資産運用+約310億円)等により、+896億円の増益

*: PHLY、Delphi、TMHCC、Pure

(単位：億円)

		2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績				2021年度 年初予想	
適用為替レート (ドル/円)		20年6月末	21年6月末	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替)	21年3月末	進捗率 (除く為替)
		107.7円	110.5円				110.7円	
先進国	北米	342	1,017	675	197.2%	189.0%	1,490	68.4%
	PHLY	136	224	88	64.8%	60.6%	380	59.1%
	Delphi	102	497	395	385.0%	372.5%	650	76.6%
	TMHCC	80	252	171	214.3%	206.2%	440	57.4%
	欧州	▲85	97	183	-	-	80	121.7%
新興国	中南米	53	47	▲5	▲9.6%	▲19.6%	60	71.1%
	アジア・オセアニア	91	166	75	82.0%	74.9%	140	120.6%
	中東・アフリカ	7	▲7	▲15	▲198.6%	▲180.2%	10	▲75.3%
損保計		424	1,271	846	199.2%	198.4%	1,730	73.4%
生保		▲21	40	62	-	-	▲50	-
Pure		39	34	▲4	▲11.9%	▲14.1%	130	26.9%
合計		379	1,276	896	236.2%	235.8%	1,670	76.3%

【2Q計画対比のコメント（除く為替）】

－ 北米（主要3社の詳細はP.21～23参照）

➡ PHLY： テキサス州寒波の影響の一方で、好調な保険引受（レートアップ・過年度リザーブの取り崩し等）や資産運用により、計画を上回る進捗率

➡ Delphi： コロナに伴う生保ビジネスの損害率悪化（計画に織り込み済）の一方、好調な資産運用や保険引受（レートアップ・過去からの収益重視の引受等）により、計画を上回る進捗率

➡ TMHCC： レートアップによる増収や自然災害が見込みを下回った影響により、計画を上回る進捗率

－ 欧州

➡ TMK： 収益安定化に向けた引受見直しやレートアップの効果が実現し、計画を上回る進捗率

－ 中南米

➡ 好調な資産運用や増収等により、計画を上回る進捗率

－ アジア・オセアニア

➡ アジアにおけるコロナに伴う自動車事故頻度の低下等により、計画を上回る進捗率

－ 生保

➡ シンガポール、マレーシアの金利上昇に伴う責任準備金の減少の影響等により、計画を上回る進捗率
（年初予想では、シンガポール、タイにおける責任準備金積増等による減益（▲45億円、修正純利益ベースでは▲約90億円）を想定していた）

－ Pure

➡ テキサス州寒波の影響（※）により、計画を下回る進捗率だが、レシプロカルからのフィー収入については概ね順調に推移

（※）一部再保険を引受（4月以降ランオフ）

■ 主要勘定科目の増減

（単位：億円）

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	20年6月末 107.7円	21年6月末 110.5円			
正味収入保険料	1,701	1,838	137	8.1%	5.3%
既経過保険料	1,774	1,826	51	2.9%	0.3%
発生保険金	1,198	1,196	▲ 2	▲0.2%	▲2.8%
自然災害	66	158	91	136.8%	130.7%
手数料・社費	521	557	35	6.8%	4.1%
保険引受利益	54	72	18	34.6%	31.1%
資産運用損益	121	195	73	60.3%	56.2%
事業別利益	136	224	88	64.8%	60.6%
損害率*1	67.5%	65.5%	▲2.0pt	-	-
事業費率*1	29.4%	30.5%	1.1pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	96.9%	96.0%	▲0.9pt	-	-

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

<手数料・社費、保険引受利益、事業費率、コンバインド・レシオについて>

2021年度より、管理会計上の手数料・社費の計算方法を変更。これに伴い、2020年度の手数料・社費、保険引受利益、事業費率、コンバインド・レシオの実績も、新たな計算方法で再算出した。なお、本変更に伴うボトムラインの変更はない。

海外保険事業④：決算概要（Delphi）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



■ 主要勘定科目の増減

（単位：億円）

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*3)
適用為替レート (ドル/円)	20年6月末 107.7円	21年6月末 110.5円			
正味収入保険料	1,441	1,575	133	9.3%	6.5%
既経過保険料	1,413	1,555	142	10.1%	7.2%
発生保険金	1,022	1,118	95	9.3%	6.5%
自然災害	-	-	-	-	-
手数料・社費	400	435	34	8.7%	5.9%
保険引受利益	▲ 10	2	12	-	-
資産運用損益	390	975	584	149.6%	143.2%
インカム損益	709	1,021	312	44.0%	40.3%
キャピタル損益	▲ 237	68	306	-	-
事業別利益	102	497	395	385.0%	372.5%
損害率*2	72.4%	71.9%	▲0.5pt	-	-
事業費率*2	28.4%	28.0%	▲0.4pt	-	-
コンバインド・レシオ*2	100.7%	99.9%	▲0.9pt	-	-

＜保険引受利益＋資産運用損益＝事業別利益にならない理由について＞

- ・ 左表に記載されない項目として、その他経常損益があるため。
- ・ その他経常損益の大宗は年金ビジネスにかかる調達コストであり、これは左表の資産運用損益（インカム損益）と対応しているもの。

■ セグメント別正味収入保険料

（単位：億円）

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	20年6月末 107.7円	21年6月末 110.5円			
損保	752	797	44	6.0%	3.2%
生保	689	777	88	12.9%	10.0%
合計	1,441	1,575	133	9.3%	6.5%

■ セグメント別損害率*1

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減
損保	76.9%	71.2%	▲5.8pt
生保	67.5%	72.5%	5.0pt
合計	72.4%	71.9%	▲0.5pt

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

海外保険事業⑤：決算概要（TMHCC）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



■ 主要勘定科目の増減

(単位：億円)

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	20年6月末 107.7円	21年6月末 110.5円			
正味収入保険料	2,164	2,711	546	25.3%	22.0%
既経過保険料	1,880	2,230	349	18.6%	15.5%
発生保険金	1,388	1,460	71	5.2%	2.5%
自然災害	6	20	14	243.2%	234.4%
手数料・社費	425	509	83	19.5%	16.5%
保険引受利益	0	174	173	28996.7%	28058.1%
資産運用損益	99	139	40	40.5%	36.9%
事業別利益	80	252	171	214.3%	206.2%
損害率*1	73.8%	65.5%	▲8.3pt	-	-
事業費率*1	22.6%	22.8%	0.2pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	96.5%	88.3%	▲8.2pt	-	-

■ セグメント別正味収入保険料

(単位：億円)

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	20年6月末 107.7円	21年6月末 110.5円			
北米損保	724	916	191	26.4%	23.1%
傷害・医療	776	839	62	8.0%	5.3%
米国外	662	955	293	44.2%	40.5%
合計	2,164	2,711	546	25.3%	22.0%

■ セグメント別損害率*1

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減
北米損保	87.6%	66.6%	▲21.0pt
傷害・医療	79.0%	78.3%	▲0.7pt
米国外	49.6%	48.1%	▲1.5pt
合計	73.8%	65.5%	▲8.3pt

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

(Blank Page)

2021年度 通期業績予想

〈ご参考〉

	2021年度 通期業績予想の前提	
	為替レート（ドル／円）	日経平均株価
年初公表予想 (21年3月末レート/株価)	110.71円	29,178円
今回予想 (21年9月末レート/株価)	111.92円	29,452円

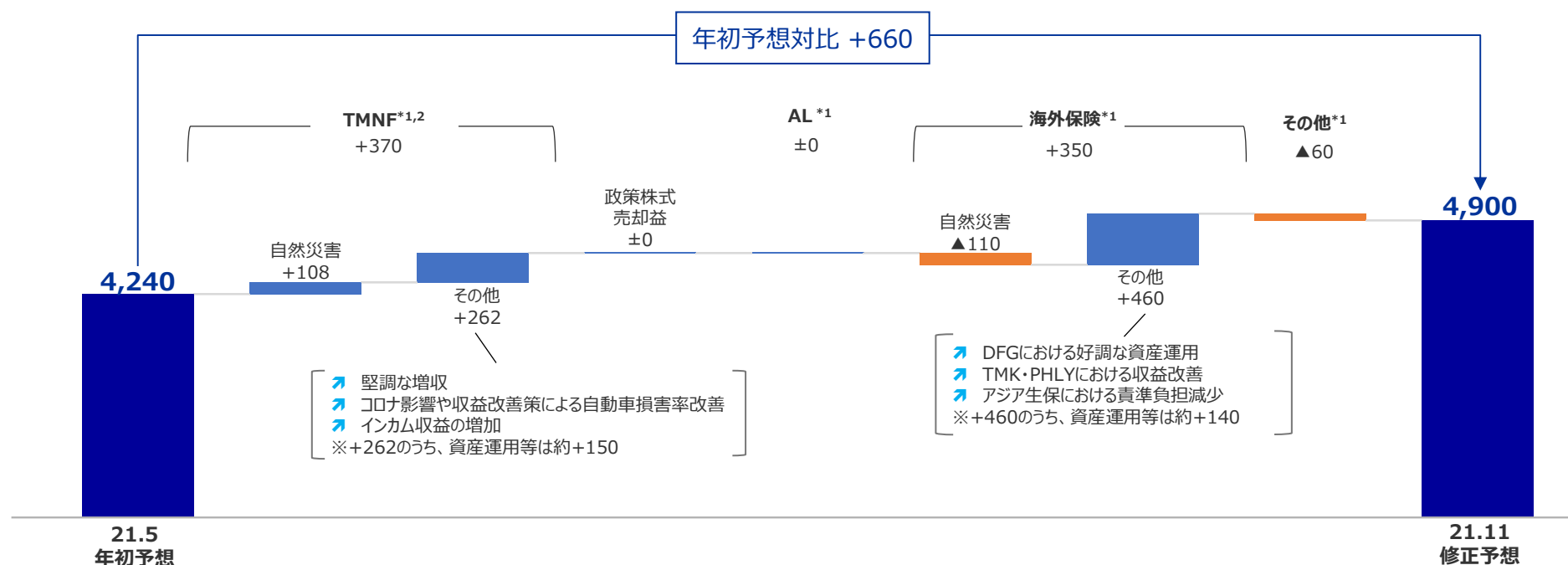
連結決算：修正純利益修正予想（年初予想対比増減）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



修正純利益は、国内外の好調な2Q実績を踏まえ、年初予想対比+660億円の上方修正

■ 修正純利益（億円）



*1: 金額は各事業の事業別利益（「その他」はその他国内損保や金融その他事業、連結調整など）

*2: 政策株式の売却益は、事業別利益には含まれないが、修正純利益には含まれる

*3: 財務会計の当期純利益の増減はP.41参照

国内損保事業①：業績予想（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



● 事業別利益は、足元の基調や下期の変動要因を反映し、年初予想対比+370億円上方修正の1,760億円を見込む

（単位：億円）

	2020年度実績	2021年度通期予想			
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減
保険引受利益	▲169	1,090	930	▲160	1,099
（保険引受利益：除く①～⑤）	2,363	1,923	2,067	143	▲296
正味収入保険料（民保）	20,219	20,411	20,666	254	446
既経過保険料（民保）*1	19,866	20,307	20,385	77	518
発生保険金（民保）*2	▲12,084	▲12,325	▲12,120	205	▲35
①自然災害	▲967	▲700	▲550	150	417
②外貨建支払備金積増/積減	▲18	-	▲20	▲20	▲1
上記以外	▲11,098	▲11,625	▲11,550	75	▲452
事業費（民保）	▲6,398	▲6,759	▲6,756	3	▲357
③異常危険準備金積増/積減	▲718	▲500	▲749	▲249	▲31
自動車	▲354	▲32	▲256	▲224	97
火災	▲220	▲327	▲337	▲10	▲117
④自然災害責任準備金積増/積減	▲83	-	22	22	105
⑤初年度収支残負担*3	▲745	366	159	▲206	904
資産運用等損益	1,702	1,780	1,948	168	245
経常利益	1,572	2,880	2,910	30	1,337
特別損益	▲180	▲42	▲45	▲3	134
当期純利益	1,093	2,200	2,220	20	1,126
事業別利益	1,753	1,390	1,760	370	6

*1 自然災害責任準備金積増を除く

*2 損害調査費を含む

*3 普通責任準備金積増額の内、未経過保険料の積増額を控除したもの

注）上表における符号は、利益方向に一致するように表示

【主な修正要因】

- 各種準備金等の影響を控除した保険引受利益：
 - 以下要因により、年初予想対比+143億円上方修正
 - 火災、その他新種、海上におけるトップラインの上方修正（P.28）
 - 自動車、火災における発生保険金の下方修正（P.29）
- 事業別利益：
 - 上記に加えて、資産運用等損益の上方修正により、年初予想に対して+370億円上方修正

【ご参考】準備金の前年度対比

- 自然災害責任準備金積増/積減：
 - 前年度の積増の反動や再保険スキームの見直しに伴う取崩の発生
- 初年度収支残負担：
 - 主に自動車におけるコロナ影響の反動による取崩の増加

国内損保事業②：正味収入保険料（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



● 火災、その他新種、海上の上方修正により、年初予想対比+254億円上方修正の2兆666億円を見込む

（単位：億円）

	2020年度 実績	2021年度通期予想				
		年初 (①)	今回 (②)	②-①	前年増減	前年増減率
火災	3,532	3,411	3,531	119	▲ 0	▲0.0%
海上	614	631	677	46	63	10.3%
傷害	1,614	1,728	1,726	▲ 2	112	7.0%
自動車	11,052	11,161	11,161	0	109	1.0%
自賠責	2,387	2,202	2,247	45	▲ 139	▲5.8%
その他新種	3,412	3,483	3,573	90	161	4.7%
合計	22,613	22,620	22,920	300	306	1.4%
民保合計	20,219	20,411	20,666	254	446	2.2%

【主な修正要因】

- 火災：
 - 下期は前年度の中途更新やマンション保険の満期到来増の反動が見込まれるものの、足元の基調等を反映し、年初予想対比+119億円上方修正
- 海上：
 - 下期はコロナ影響の反動の縮小が見込まれるものの、足元の基調等を反映し、年初予想対比+46億円上方修正
- 傷害：
 - 年初予想対比横ばい
- 自動車：
 - 年初予想対比横ばい
- 自賠責：
 - 足元の基調等を反映し、年初予想対比+45億円上方修正
 - 21年4月の料率引下げ（▲6.7%）の影響により、前年度対比では▲139億円減収
- その他新種
 - 足元の基調や下期の大口契約等を反映し、年初予想対比+90億円上方修正

国内損保事業③：発生保険金（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



● 自動車、火災の下方修正により、発生保険金は、年初予想対比▲205億円の1兆2,120億円を見込む

（単位：億円）

	2020年度 実績	自然 災害	2021年度通期予想				
			年初 (①)	今回 (②)	②-①	前年増減	前年増減率
火災	2,679	868	2,143	2,060	▲ 83	▲ 618	▲23.1%
海上	378	12	424	433	8	54	14.4%
傷害	857	-	946	951	4	93	10.9%
自動車	5,982	48	6,809	6,511	▲ 297	528	8.8%
その他新種	2,186	38	2,001	2,164	163	▲ 22	▲1.0%
合計	12,084	967	12,325	12,120	▲ 205	35	0.3%

注）上表には損害調査費を含む

【主な修正要因】

- 火災：
 - 海外においてハリケーンIdaの影響が見込まれるものの、国内自然災害予算の見直し（種目計で▲150億円）等により、年初予想対比▲83億円減少
- 海上：
 - 年初予想対比横ばい
 - コロナ影響の反動等により、前年度対比では+54億円増加
- 傷害：
 - 年初予想対比横ばい（コロナ影響の反動は想定を下回るものの、コロナ以外の事故増加により相殺）
 - コロナ影響の反動等により、前年度対比では+93億円増加
- 自動車：
 - コロナ影響の見直しや収益改善の取り組みにより、年初予想対比▲297億円減少
 - コロナ影響の反動により、前年度対比では+528億円増加
- その他新種：
 - 国内外での大口事故による影響等を保守的に織り込み、年初予想対比+163億円増加

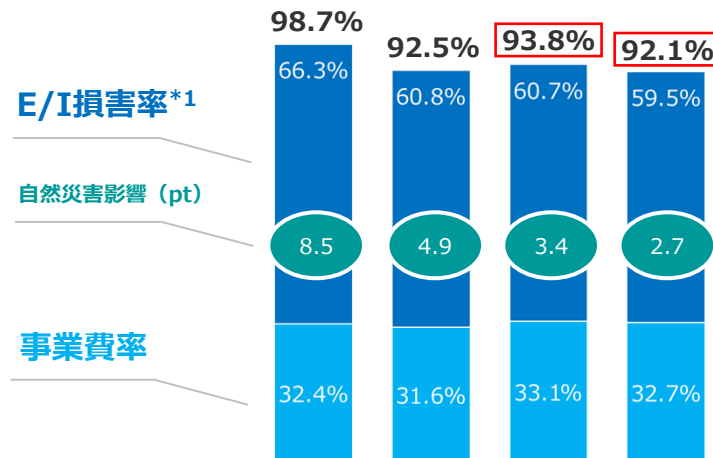
国内損保事業④：コンバインド・レシオ（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



● E/I損害率、事業費率、コンバインド・レシオは、年初予想対比低下を見込む

コンバインド・レシオ（民保E/Iベース）



【主な修正要因】

- E/I損害率：
 - ➡ 既経過保険料の上方修正や発生保険金の下方修正により、年初予想対比▲1.2pt低下
除く自然災害でも同様
- 事業費率：
 - ➡ 社費率は、正味収入保険料の上方修正や物件費の下方修正により、年初予想対比▲0.3pt低下
 - ➡ 手数料率は、正味収入保険料の上方修正に伴い実額は増加するものの、種目ポートフォリオの入れ替えにより、年初予想対比▲0.1pt低下
- コンバインド・レシオ：
 - ➡ 上記要因により、年初予想対比▲1.7pt低下

（単位：億円）

	2019年度実績	2020年度実績	2021年度通期予想			
			年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減
正味収入保険料	19,699	20,219	20,411	20,666	254	446
既経過保険料*2	19,172	19,866	20,307	20,385	77	518
発生保険金*1	12,708	12,084	12,325	12,120	▲ 205	35
事業費	6,382	6,398	6,759	6,756	▲ 3	357
内：社費	2,338	2,198	2,477	2,444	▲ 32	245
内：代理店手数料	4,043	4,199	4,282	4,311	29	112

*1 損害調査費を含む

*2 自然災害責任準備金積増を除く

E/I損害率*1

	2020年度実績	2021年度通期予想			
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減
火災	84.1%	63.7%	60.7%	▲ 3.0pt	▲ 23.4pt
海上	61.4%	67.1%	64.8%	▲ 2.3pt	3.4pt
傷害	51.9%	56.4%	56.6%	0.2pt	4.7pt
自動車	54.3%	61.1%	58.4%	▲ 2.7pt	4.0pt
その他新種	64.3%	57.5%	62.1%	4.6pt	▲ 2.2pt
民保合計	60.8%	60.7%	59.5%	▲ 1.2pt	▲ 1.4pt

国内損保事業⑤：資産運用等損益（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 資産運用等損益は、インカムの好調をはじめとした上期実績を反映し、年初予想対比+168億円の上方修正

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度通期予想			
		年初 (①)	今回 (②)	②-①	前年増減
資産運用等損益	1,702	1,780	1,948	168	245
資産運用損益	2,019	2,090	2,313	222	294
ネット利息及び配当金収入	1,287	1,300	1,542	241	254
利息及び配当金収入	1,633	1,624	1,856	231	223
内国株式配当金	558	526	601	74	42
外国株式配当金	509	589	621	32	111
内国債券インカム	175	160	162	1	▲ 13
外国債券インカム	25	21	22	1	▲ 2
内国その他インカム ^{*1}	6	▲ 0	4	5	▲ 1
外国その他インカム ^{*2}	239	235	334	98	95
積立保険料等運用益振替	▲ 345	▲ 323	▲ 313	10	31
売却損益等計（キャピタル）	731	789	770	▲ 18	39
有価証券売却損益	837	809	837	28	0
有価証券評価損	▲ 16	-	▲ 37	▲ 37	▲ 21
内国株式評価損	▲ 6	-	▲ 14	▲ 14	▲ 8
外国証券評価損	▲ 6	-	▲ 16	▲ 16	▲ 10
金融派生商品損益	▲ 240	▲ 22	▲ 46	▲ 24	193
為替差損益	141	-	8	8	▲ 132
その他	8	2	8	5	0
その他経常収益・費用等	▲ 317	▲ 310	▲ 365	▲ 54	▲ 48

* 1 内国証券のうち内国株式及び内国債券以外からのインカム

* 2 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

【主な修正要因】

- ネット利息及び配当金収入（インカム）
 - ➡ 上期の好調を反映し、年初予想対比+241億円の上方修正
- 売却損益等計（キャピタル）
 - ➡ 上期までの市場環境を反映した結果、政策株式売却益の増加を、有価証券評価損の発生や金融派生商品損益の減少が相殺し、年初予想対比▲18億円の下方修正

国内生保事業：業績予想（AL）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 新契約年換算保険料は、上期の好調を反映し、年初予想対比+40億円の上方修正
- 事業別利益は、トップラインを上方修正するものの、初年度負担の軽い商品の寄与度が大きいことから、年初予想を据え置き

(単位：億円)

	2020年度実績	2021年度通期予想				
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減	前年増減率
新契約年換算保険料	433	450	490	40	56	13.1%

	2021年3月末実績	2022年3月末予想				
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減	前年増減率
保有契約年換算保険料	8,199	7,960	7,990	30	▲209	▲2.5%

	2020年度実績	2021年度通期予想			
		年初(①)	今回(②)	②-①	前年増減
経常収益	10,178	9,230	9,250	20	▲928
保険料等収入	8,437	8,080	8,090	10	▲347
当期純利益	464	470	470	-	5
経常利益	598	570	560	▲10	▲38
(-) キャピタル損益	▲69	▲30	▲30	-	39
(-) 臨時損益	▲16	▲0	▲0	-	16
基礎利益	684	600	590	▲10	▲94
事業別利益	527	480	480	-	▲47
新契約価値	550	580	610	30	59

【主な修正要因】

－ 新契約年換算保険料

- ➡ 上期の販売好調を反映し、年初予想対比+40億円の上方修正

－ 事業別利益

- ➡ トップラインを上方修正するものの、初年度負担の軽い商品の寄与度が大きく、利益へのマイナス影響は軽微に留まると見込み、年初予想を据え置き

－ 新契約価値

- ➡ 上期の販売好調や円金利のスティープ化を反映し、年初予想対比+30億円の上方修正

海外保険事業①：正味収入保険料

- TMHCC・PHLYを中心とした好調な上期基調の継続を見込み、通期予想を前年度対比+8.1%（年初予想対比+3.5pt）に引き上げる

（単位：億円）

		2020年度 実績 (①)	2021年度通期予想				
			年初 (②)	今回 (③)		前年 増減 ③-①	前年 増減率 ③/①
適用為替レート (ドル/円)		20年12月末	21年3月末	21年9月末	③-②		(参考) 前年増減率 (除く為替*5) ③/①
		103.5円	110.7円	111.9円			
先進国	北米*1	10,958	12,350	13,110	760	2,151	19.6%
	Philadelphia	3,364	3,650	3,820	170	455	13.5%
	Delphi	2,795	3,110	3,180	70	384	13.7%
	TMHCC	4,135	4,820	5,270	450	1,134	27.4%
	欧州*2	1,309	1,420	1,350	▲70	40	3.1%
新興国	中南米	1,056	1,130	1,210	80	153	14.6%
	アジア・オセアニア*3	1,743	1,940	1,890	▲50	146	8.4%
	中東・アフリカ	331	360	340	▲20	8	2.5%
損保計*4		15,399	17,200	17,900	700	2,500	16.2%
生保		933	950	970	20	36	3.9%
合計		16,333	18,150	18,870	720	2,536	15.5%
							8.1%

【主な修正要因】

- － 北米
 - ➡ PHLY・DFG・TMHCC： 好調な上期基調の継続を見込み、通期予想を引上げ
- － 欧州
 - ⬇️ TMK： 収益安定化に向けた引受見直しの一層の推進や財物保険のレートアップ鈍化等を見込むことにより、通期予想を引下げ
- － 中南米
 - ➡ 上期基調の継続を見込み、通期予想を引上げ
- － アジア・オセアニア
 - ⬇️ コロナに伴う新車販売回復の遅れを見込むことにより、通期予想を引下げ

*1 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州事業を含む。TMKの北米事業は含まない
*2 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含む。TMHCCの欧州事業は含まない
*3 「アジア・オセアニア」に記載の数値には、先進アジア・オセアニアを含む
*4 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含む
*5 円換算時の為替の影響を控除

海外保険事業の数値は、従来からIR資料などで開示している基準と合わせ、東京海上日動の在外支店や持分法適用会社、非連結会社なども合算した海外保険事業トータルの数値となっている
(上記全ての注記については、P.35も同様)

海外保険事業②：事業別利益

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- テキサス州寒波やハリケーンIdaにより自然災害が年初予想を上回る (▲110億円)見込みであるものの、保険引受・資産運用共に好調な上期実績 (北米主要拠点:計画対比+250億円) を踏まえ、年初予想対比+350億円の上方修正
- なお、+350億円から一過性要因*を除くと+320億円

*: 北米拠点のキャピタルゲイン(+120億円)+自然災害(▲110億円)+為替 (+20億円)

(単位：億円)

		2020年度 実績 (①)	2021年度通期予想					(参考) 前年増減率 (除く為替) ③/①
			年初 (②)	今回 (③)	③-②	前年 増減 ③-①	前年 増減率 ③/①	
適用為替レート (ドル/円)		20年12月末 103.5円	21年3月末 110.7円	21年9月末 111.9円				
先進国	北米	1,163	1,490	1,760	270	596	51.3%	39.5%
	Philadelphia	399	380	410	30	10	2.7%	▲5.0%
	Delphi	456	650	770	120	313	68.8%	56.1%
	TMHCC	253	440	500	60	246	97.3%	82.4%
	欧州	▲124	80	90	10	214	-	-
新興国	中南米	109	60	70	10	▲39	▲35.9%	▲38.0%
	アジア・オセアニア	▲60	140	190	50	250	-	-
	中東・アフリカ	6	10	0	▲10	▲6	▲100.0%	▲100.0%
損保計		973	1,730	2,050	320	1,076	110.6%	94.8%
生保		▲5	▲50	10	60	15	-	-
Pure		82	130	110	▲20	27	33.6%	23.5%
合計		916	1,670	2,020	350	1,103	120.4%	101.6%

【主な修正要因】

- 北米主要拠点（PHLY、Delphi、TMHCC、Pure）
 - ➡ 好調な上期実績（計画対比+約250億円）、下期の増収、ハリケーンIda等の自然災害の影響等を見込むことにより、+190億円の上方修正
- 欧州
 - ➡ 好調な上期実績および下期のハリケーンIdaの影響により、+10億円の上方修正
- アジア・オセアニア
 - ➡ 好調な上期実績により、+50億円の上方修正
- 生保
 - ➡ シンガポール、マレーシアの金利上昇に伴う責任準備金減少の影響等により、+60億円の上方修正（但し、未計上分の責任準備金積増を下期に見込んでいるため、上期実績を下回る水準となる）

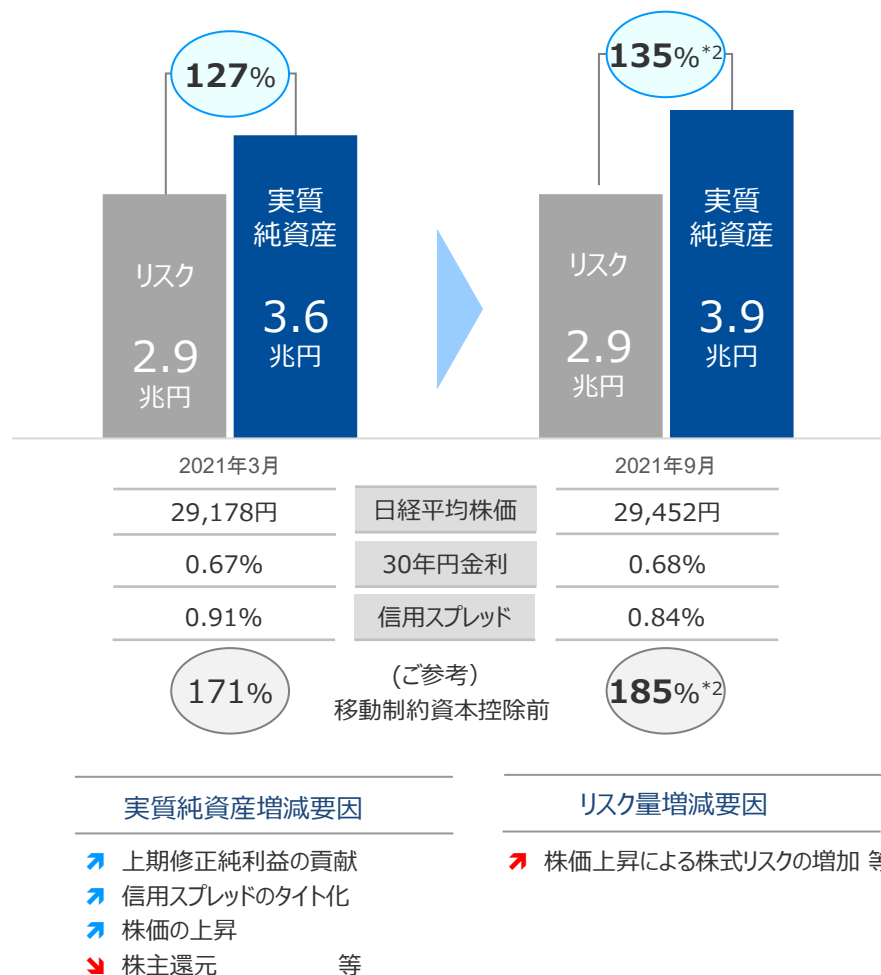


ESRの状況

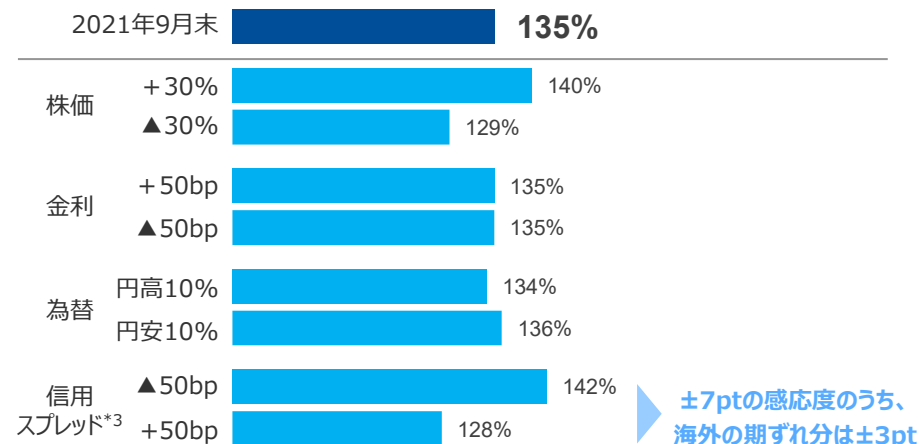
ESRの推移と感応度

- 株主還元の方で、上期の利益貢献等により、2021年9月末のESRは135%（ターゲットレンジ内）となった

ESR^{*1}の推移

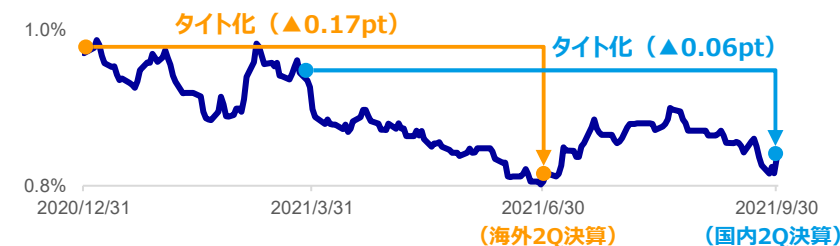


ESRの感応度（パラレルシフトが前提）



株価：政策株式の売却を継続
 金利：ALM運用により金利変動の影響をコントロール
 為替：ESRへの影響は限定的
 信用：リスクリミットの範囲内でリスクテイクを許容

<ご参考> 米国社債の信用スプレッドの推移



- ^{*1}: Economic Solvency Ratio（リスク量は99.95%VaR（AA格基準）に基づくモデルで計算）
 海外子会社の実質純資産は、3か月前（20.12末と21.6末）の残高
^{*2}: 資本水準調整の年間枠のうち残額400億円の控除後は133%（移動制約資本控除前は184%）
^{*3}: 海外子会社の連結決算の期ずれ(上記^{*1}の通り)があるため、ESRに反映される信用スプレッド変動の期間が異なる

(ご参考) Economic Solvency Ratio (ESR) のターゲットレンジ





参考資料

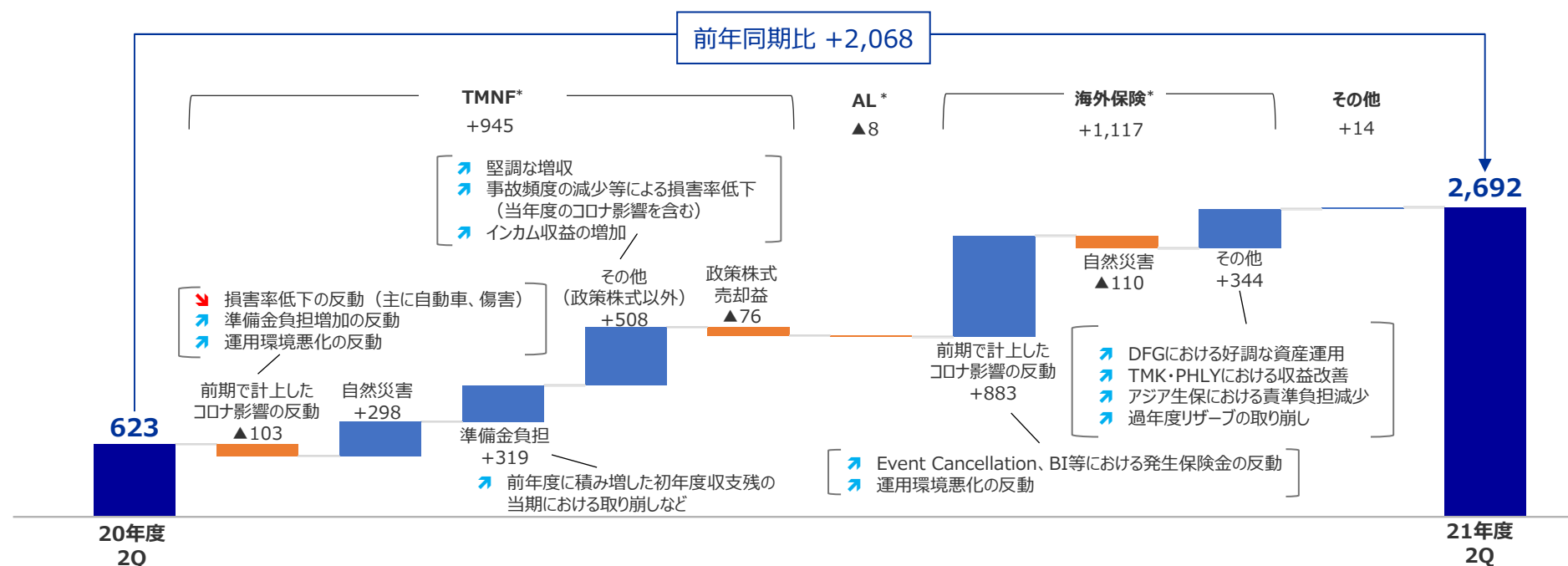
連結決算：連結純利益2Q実績（前年増減）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



連結純利益の2Q実績は、コロナ影響の反動に加え、TMNFにおける初年度収支残の取り崩しや好調な保険引受、海外における好調な資産運用等により、前年同期比+2,068億円の2,692億円となった

■ 親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



* 連結調整を含む

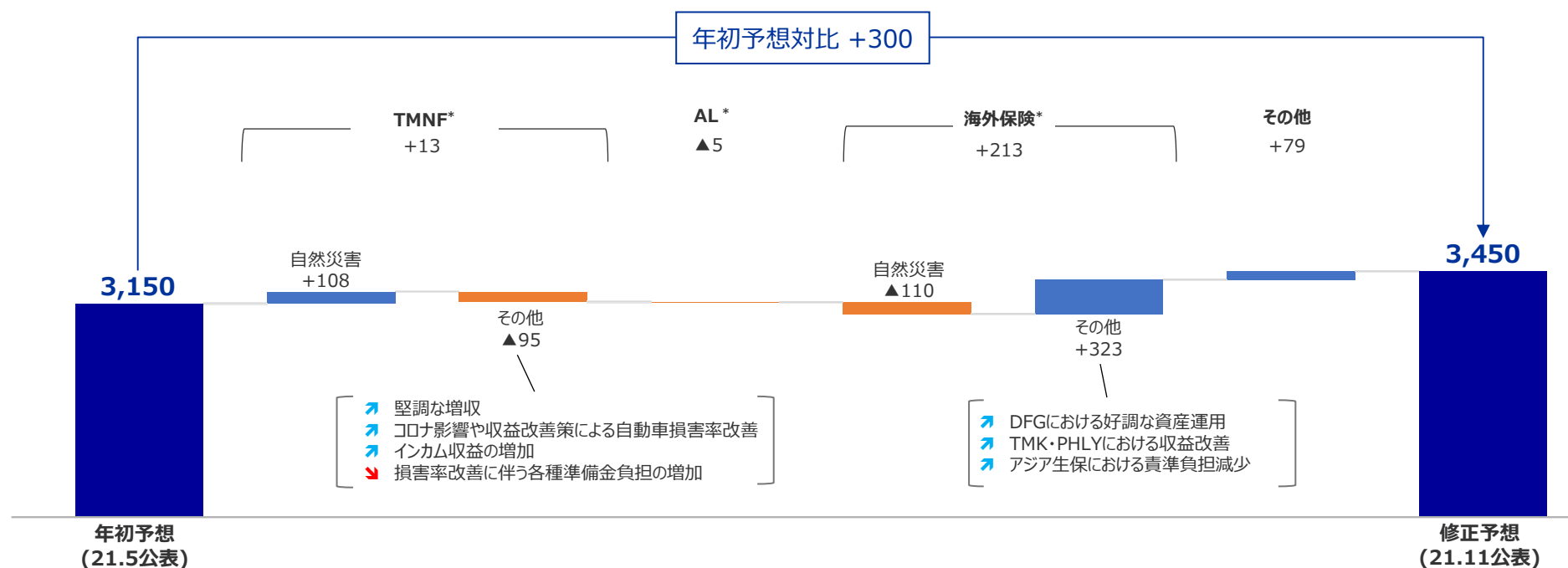
連結決算：連結純利益修正予想（年初予想対比増減）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



連結純利益の修正予想は、TMNFは準備金負担増加等により横ばいを見込むものの、海外の好調な2Q実績等を踏まえ、年初予想対比+300億円の上方修正

■ 親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



* 連結調整を含む

修正純利益（グループ全体）

透明性および比較可能性の向上／株主還元との連鎖

- 市場から見た透明性や比較可能性の向上、株主還元との連鎖の確保を目的として、グループ全体では財務会計をベースとした「**修正純利益**」を使用
- 資本効率（修正ROE）や配当原資の前提となるグループ全体の利益指標
- なお、2021年度より、透明性や比較可能性の向上の観点から計算方法を一部変更している

事業別利益

長期的な企業価値拡大

- 各事業の利益指標は、経済価値等を考慮した企業価値を的確に把握し、長期的に拡大を目指す観点から、「**事業別利益**」を用いて経営管理を行う
- なお、2021年度より、生保事業について、当期純利益をベースとした指標に改定している

<主な違い>

		修正純利益	事業別利益
損害保険	政策株式売却損益	控除しない	控除
	資本性準備金繰入額	控除	控除
その他	のれん・その他無形固定資産償却費	控除	控除

各種指標の定義②

※透明性や比較可能性向上の観点から2021年度より定義を一部変更（黄色網掛け部分）

修正純利益・修正純資産・修正ROEの定義

$$\begin{aligned}
 \text{修正純利益}^{\ast 1} &= \text{連結当期純利益}^{\ast 2} + \text{異常危険準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{危険準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{自然災害責任準備金}^{\ast 4} \text{ 繰入額}^{\ast 3} + \text{初年度収支残の影響額} \\
 &\quad - \text{ALM}^{\ast 5} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} + \text{のれんその他無形固定資産償却額} - \text{事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等} \\
 \text{修正純資産}^{\ast 1} &= \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} + \text{自然災害責任準備金}^{\ast 4} + \text{初年度収支残} \\
 \text{修正ROE} &= \frac{\text{修正純利益}}{\text{修正純資産（平均残高ベース）}}
 \end{aligned}$$

※1 各調整額は税引き後

※2 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※3 戻入の場合はマイナス

※4 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

※5 ALM＝資産・負債総合管理。ALMの負債時価変動見合いとして除外

※6 海外生保は「その他の事業」の基準により算出

事業別利益の定義

● 損害保険事業

$$\text{事業別利益}^{\ast 1} = \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金等繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{自然災害責任準備金}^{\ast 4} \text{ 繰入額}^{\ast 3} + \text{初年度収支残の影響額}$$

● 生命保険事業 ※6

$$\begin{aligned}
 \text{事業別利益}^{\ast 1} &= \text{当期純利益} + \text{危険準備金等繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} \\
 &\quad - \text{ALM}^{\ast 5} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}
 \end{aligned}$$

● その他の事業

財務会計上の当期純利益

$$\begin{aligned}
 &\quad - \text{ALM}^{\ast 5} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}
 \end{aligned}$$

実質純資産の定義

$$\begin{aligned}
 \text{実質純資産}^{\ast 1} &= \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} - \text{のれんその他無形固定資産} - \text{株主還元予定額} + \text{生保保有契約価値} + \text{その他}
 \end{aligned}$$

修正純利益の組替表（2Q実績）

2Qの修正純利益は、前年同期比+1,314億円増益の3,181億円

組替表 ^{*1} (注) 符号は利益方向にプラス表示	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減 (億円)
親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	623	2,692	2,068
異常危険準備金繰入額 ^{*2}	+ 316	+ 300	▲ 15
危険準備金繰入額 ^{*2}	+ 7	+ 5	▲ 2
価格変動準備金繰入額 ^{*2}	+ 35	+ 36	1
自然災害責任準備金 ^{*3} 繰入額 ^{*2}	+ 60	▲ 17	▲ 77
初年度収支残の影響額	+ 244	▲ 306	▲ 551
ALM ^{*4} 債券・金利スワップ取引に 関する売却・評価損益	+ 16	+ 8	▲ 8
事業投資に係る株式・固定資産に 関する売却損益・評価損	+ 13	▲ 14	▲ 27
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 448	+ 473	24
その他特別損益・評価性引当等	+ 100	+ 2	▲ 97
修正純利益	1,867	3,181	1,314

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

修正純利益の組替表（業績予想）

通期の修正純利益は、年初予想対比+660億円上方修正の4,900億円を見込む

● 組替表^{*1}

（注）符号は利益方向にプラス表示

	2020年度 実績	2021年度 予想 (年初)	2021年度 予想 (今回)	今回-年初 (億円)
親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	1,618	3,150	3,450	300
異常危険準備金繰入額 ^{*2}	+ 532	+ 330	+ 520	190
危険準備金繰入額 ^{*2}	+ 14	+ 0	+ 0	-
価格変動準備金繰入額 ^{*2}	+ 71	+ 70	+ 70	-
自然災害責任準備金 ^{*3} 繰入額 ^{*2}	+ 59	▲ 0	▲ 10	▲ 10
初年度収支残の影響額	+ 575	▲ 270	▲ 120	150
ALM ^{*4} 債券・金利スワップ取引に 関する売却・評価損益	+ 36	+ 10	+ 10	-
事業投資に係る株式・固定資産に 関する売却損益・評価損	+ 82	▲ 0	▲ 0	-
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 881	+ 940	+ 960	20
その他特別損益・評価性引当等	+ 124	▲ 0	+ 0	-
修正純利益	3,996	4,240	4,900	660

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

修正純資産・修正ROE（2020年度実績、2021年度業績予想）



（単位：億円）

● 修正純資産*1

	2020年度 実績	2021年度 予想 (年初)	2021年度 予想 (今回)	今回一年初
連結純資産	36,640	38,220	39,870	1,650
異常危険準備金	+7,447	+7,770	+7,960	190
危険準備金	+431	+430	+430	-
価格変動準備金	+922	+990	+990	-
自然災害責任準備金	+225	+220	+200	▲20
初年度収支残	+848	+570	+720	150
のれん・ その他無形固定資産	▲8,517	▲7,910	▲8,060	▲150
修正純資産	37,998	40,320	42,150	1,830

*1 各調整は税引後

*2 平残ベース

● 修正ROE

	2020年度 実績	2021年度 予想 (年初)	2021年度 予想 (今回)	今回一年初
連結純利益	1,618	3,150	3,450	300
連結純資産*2	35,180	37,430	38,250	820
財務会計ROE	4.6%	8.4%	9.0%	0.6pt

	2020年度 実績	2021年度 予想 (年初)	2021年度 予想 (今回)	今回一年初
修正純利益	3,996	4,240	4,900	660
修正純資産*2	35,423	39,160	40,070	910
修正ROE	11.3%	10.8%	12.2%	1.4pt

事業別利益の組替表



● 国内損保事業*1（うちTMNF）

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	2021年度 予想 (今回)
当期純利益（財務会計）	629	1,898	1,268	2,220
異常危険準備金繰入額*2	+301	+302	1	+543
価格変動準備金繰入額*2	+21	+22	0	+44
自然災害責任準備金*3繰入額*2	+60	▲16	▲76	▲16
初年度収支残の影響額	+236	▲287	▲524	▲115
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	+13	+3	▲9	+6
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	▲392	▲341	51	▲591
グループ内配当金	▲234	▲395	▲161	▲547
その他特別損益 評価性引当等	+276	+131	▲144	+212
事業別利益	913	1,318	404	1,760

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALMとは資産・負債総合管理のこと、ALM負債時価変動見合いとして除外

*5 特別損益、本社費ほか

● 国内生保事業*1

(単位：億円)

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	2021年度 予想 (今回)
当期純利益（財務会計）	223	215	▲8	470
危険準備金等繰入額*2	+4	+3	▲0	+1
価格変動準備金繰入額*2	+12	+4	▲8	+9
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	+3	+4	1	+5
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	+0	+0	▲0	+0
その他特別損益 評価性引当等	-	-	-	-
事業別利益	244	227	▲16	480

● 海外保険事業*1

	2020年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	前年 増減	2021年度 予想 (今回)
当期純利益（財務会計）	328	1,282	953	2,130
少数株主持分の調整		▲15		
対象会社の差異		▲31		
その他調整*5		+41		
事業別利益	379	1,276	896	2,020

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

< ご注意 >

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

お問い合わせ先

東京海上ホールディングス株式会社

経営企画部 IRグループ

URL: www.tokiomarinehd.com/inquiry/ir.html

Tel: 03-3285-0350

To Be a *Good Company*



東京海上ホールディングス

